



かえるの声

平成26年 3月17日(月) No. 23

途別小学校の教育目標
あかるい子 (徳)
かしこい子 (知)
たくましい子 (体)
知・徳・体をバランスよく育てよう

障害について学ぶ～町福祉課出前授業～

3月6日(木)に、幕別町民生部福祉課の方に「福祉教育」の出前授業を実施していただきました。前半はプレゼンやDVDで「障害とは何か?」について教えていただきました。「かわいそうと考えるのではなく、自分にできる手伝いを勇気をもってすること」の大切さや、「バリアフリーやユニバーサルデザインは誰にとってもわかりやすく、役に立つ」という考え方を子どもたちは理解しました。引用されたヘレンケラーの「障害は不便だか、不幸ではない」という言葉が、より障害への理解を深めていました。後半は、聴覚障害をおもちの丸山先生から手話を教えていただきました。「手話のできる方が1人増えると、バリアが1つ少なくなる。」という教えが、子どもたちの心に思いやりの大切さを刻んでいました。障害について理解を深め、手伝いを行うことが、自分自身を育てることにつながります。福祉課の皆様、丸山先生、素敵な授業ありがとうございました。



西幕別学校運営協議会会議より



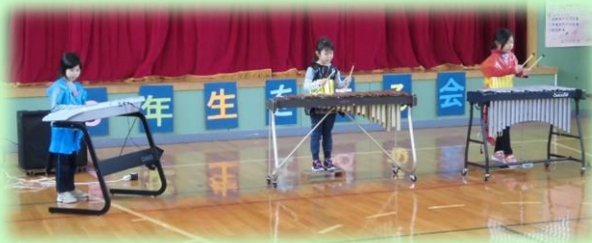
西幕別学校運営協議会会議の中で、本校の子どもたちの挨拶がよくできていると、地域の皆様からお誉めの言葉をいただきました。「畑で仕事をしているときも、登下校中の子

どもたちが、元気に挨拶をしてくれる。」
「学校に入って子どもに会うとすぐ挨拶をしてくれて気持ちがいい。」等のお話から、子どもたちは学校の中だけでなく地域でも頑張っていることがわかりました。学校では「挨拶・返事をしっかりとしよう」と継続的に指導していますし、もちろんご家庭でも教えていただいています。そして地域の方が子どもたちを見守ってくださる。「地域で子どもを育てる」を実現できる素晴らしいこの地域に、心より感謝いたします。

6年生を送る会

3月13日(木)に、風邪の流行のため延期となっていた「6年生を送る会」を実施しました。7人の6年生は途別小学校の最高学年として、勉強、運動、児童会活動、学校行事など、全ての面でしっかりとその役割を果たしました。下の学年に手渡すバトンを形づくり、卒業も間近に迫ってきました。そんなお世話になった先輩方の笑顔为目标に、在校生が力を合わせて素晴らしい「ありがとうの会」を展開しました。

各学年からの出し物では、真心のこもった歌・器楽・ダンス・思い出クイズなどが披露されました。6年生からも器楽演奏のプレゼントがあり、「さすが最高学年」と改めて実感させていました。その後お母さん方も参加してゲームを行い、先輩たちの笑顔がたくさん見られ、この集会の目標が見事に達成されました。6年生にとって大切な思い出の一つとなったことでしょう。



今年度の活動を振り返る

3月5日(水)に、PTA母の部の総会と、PTA合同部会が開かれました。午前中に行われた母の部総会では、和やかな雰囲気の中で、今年度の活動の振り返りが進められました。給食の時間にはお母さん方が各教室に行き、子どもたちと一緒に試食するという楽しい取組も行われました。夜実施した合同部会では、PTA三役、教養部、体育部のメンバーが集まり、今年度の反省と来年度の方向性について熱心な協議が進められました。今後有児家庭数の減少が予想されることから、組織体制にかかわる話題も浮上するなど、今後の課題が明らかになりました。